

東日本ユニオンにいがた

http://niigatachihon.yukigesho.com/

JR東日本労働組合新潟地方本部

2021年1月15日発行

第4号 (通巻第171号)

発行者: 星山 圭 編集者: 教育・広報部

現情勢下での会議設定の妥当性を質す

新潟地本は12月17日に申34号・現情勢下における健全な企業活動に関する緊急申し入れの団体交渉を行いました。

コロナ禍において、また初めての最終赤字を予想しコストカットが求められる会社業績の中で、設備部の現場長会議を温泉旅館において会社経費で開催しようとした会社姿勢について質しました。

支社側は「経営判断であり必要な会議は開催する」と繰り返し返すにとどまり、現場社員の感覚との乖離が浮き彫りになりました。

新潟研修センターでの日帰りの会議を1泊2日に変更した理由について質すと支社側は、一旦日帰り設定しておいたが、業務上の必要性があり日程を変更したとしました。

温泉旅館での会議が必要であった理由について、温泉に限らず支社ビル内の会議室や新潟駅周辺の貸し会議室、コンベンションホール等々もあるが今回が経営判断を踏まえて、結果として今回の会場に

決定したと回答しました。交渉団は、業務上の必要性に、当社としてDCを利活用することも目的としてあつたのかを質しました。

支社側は、変革2027の行動指針の中にある「地域密着」や「地域社会の発展に貢献」という理念のもと勘案した中で会場を決定したとしました。

コロナ禍、赤字下という現情勢下における今回の妥当性を問いました。支社側は、経費について

ゼロベースで見直しをするのは変革のスピードアップにも記載をしているが、会社として必要であるものは経費が伴うものも含めて行うことは変わらないとして、今回の現場長会議については、業務上の必要性があつたとの回答を繰り返しました。

泊りになって日帰りより会議時間が短くなっていることから会議内容に変更があつたのか問いましたが、経営上の判断であり回答は控えるとの述べるにとどまりました。

業務上必要な判断であるならば、なぜやめたのかを正すと、11月19日に出た危機管理N199号の指示を受けて、コロナ等情勢を踏まえて感染拡大防止の観点からも変更したとしました。

現場では決算説明会で鉛筆一本、蛍光灯一本節約するように言われている中で社員からの理解が得られるのかを質すと、コストダウンには取り組むが必要な会議については経費を使わなければならないとしました。

現場は肌感覚で危機的な経営状態を感じている中で、温泉で会議を開催しようとする現場長に鼓舞されても何も伝わらない

と考えないのか質しましたが、意見は承るが必要なのは行っていくことには変わりないとの返答が返りました。

新潟地本 営業職場で 東日本ユニオンに加入!



新たな仲間と 共にがんばろう!

温泉で会社の経費で会議を行う事で、コストダウンに向けて職場で社員が我慢しているのが現場長の酒代になっていると思われているとの指摘には、そのような声があることも意識した中でやって行きたいとしながらも、コスト

と意見は承るが必要なのは行っていくことには変わりないとの返答が返りました。温泉で会社の経費で会議を行う事で、コストダウンに向けて職場で社員が我慢しているのが現場長の酒代になっていると思われているとの指摘には、そのような声があることも意識した中でやって行きたいとしながらも、コスト

2021年3月ダイヤ改正及び 駅の業務執行体制の見直しの実施について 提案内容

1 実施概要及び実施時期

- ダイヤ改正 2021.3.13
 - ・酒田運輸区 助役△1 乗務△21
 - ・長岡運輸区 乗務△2
 - ・新潟運輸区 乗務+10
 - 計 △14
- 駅の業務執行体制の見直し
 - ・東三条駅 2021.3.1 △2 概要:2徹を1徹1日勤に変更
 - ・浦佐駅 2021.3.13 △1 概要:窓口を「話せる券売機」化
 - ・東三条駅 2021.5.1 △7 概要:業務委託

2 業務機関別標準数 (ここでは割愛)

3 その他 就業規則48条別表第1に定める乗務主務、乗務主任、乗務係については、別表第1に定める各業務に関する必要な教育を行ったうえで、順次、担当業務間の相互運用を行う。

2021年3月ダイヤ改正 駅業務執行体制の見直し 提案を受ける

新潟地本は12月13日に団体交渉を行い、2021年3月ダイヤ改正及び駅の業務執行体制の見直しの実施についての提案を受けました。

○要員増減について
ダイヤ改正に関する要員増減の提案について、運転士、車掌の内訳が示されなかったため示すよう求めましたが、支社側は乗務係への職名統一に伴い全体数でしか明らかにしないとしました。

予備の内訳についても、全体数でしか明らかにしないと示す考えはないと繰り返し返しました。「乗務」に含まれるものは何かを質すと、交番数に応じた要員、予備の要員、指導であるとの返答が返りました。

酒田運輸区の助役△1について何助役か質したものの、全体数でしか明らかにしないとしました。酒田運輸区の△22とい

と意見は承るが必要なのは行っていくことには変わりないとの返答が返りました。温泉で会社の経費で会議を行う事で、コストダウンに向けて職場で社員が我慢しているのが現場長の酒代になっていると思われているとの指摘には、そのような声があることも意識した中でやって行きたいとしながらも、コスト

と意見は承るが必要なのは行っていくことには変わりないとの返答が返りました。温泉で会社の経費で会議を行う事で、コストダウンに向けて職場で社員が我慢しているのが現場長の酒代になっていると思われているとの指摘には、そのような声があることも意識した中でやって行きたいとしながらも、コスト

と意見は承るが必要なのは行っていくことには変わりないとの返答が返りました。温泉で会社の経費で会議を行う事で、コストダウンに向けて職場で社員が我慢しているのが現場長の酒代になっていると思われているとの指摘には、そのような声があることも意識した中でやって行きたいとしながらも、コスト

と意見は承るが必要なのは行っていくことには変わりないとの返答が返りました。温泉で会社の経費で会議を行う事で、コストダウンに向けて職場で社員が我慢しているのが現場長の酒代になっていると思われているとの指摘には、そのような声があることも意識した中でやって行きたいとしながらも、コスト

と意見は承るが必要なのは行っていくことには変わりないとの返答が返りました。温泉で会社の経費で会議を行う事で、コストダウンに向けて職場で社員が我慢しているのが現場長の酒代になっていると思われているとの指摘には、そのような声があることも意識した中でやって行きたいとしながらも、コスト

と意見は承るが必要なのは行っていくことには変わりないとの返答が返りました。温泉で会社の経費で会議を行う事で、コストダウンに向けて職場で社員が我慢しているのが現場長の酒代になっていると思われているとの指摘には、そのような声があることも意識した中でやって行きたいとしながらも、コスト

再編について現段階の考案方を質すと支社側は、現時点の車両センター、運輸区、構内について必要な拠点であるとの返答が返りました。

中長編成ワンマンについては、これまで地上、車両両面から検討しているが現時点で予算等実行しているものはないとしました。

○第3項 その他について
第3項の「その他」について具体的な内容を質すと支社側は、いわゆる運転士と車掌の混み運用は現時点で考えていないが、成案になり労働条件に変更が生じれば提案すると回答しました。

成案ではなく具体的にない内容を提案する意味を問うと、新潟支社の考えを示したものであるとしました。

○東三条駅について
支社側は、ご利用状況が戻らない予測もあり泊まりを1つ残して日勤化を

券売機は社員教育を含めて分かり次第伝えているとしました。

浦佐駅へ導入する理由を問うと、新幹線駅であること、収入や発売枚数等を勘案したとしました。

話せる券売機でできないことはあるか質すと、イベント券の発売はできないとしました。

3月実施の効率化と5月実施の業務委託という二段階での提案の意味を問うと支社側は、効率化と支社側は、効率化した上で春の新生活等の対応を本気で見てから委託するためであるとの考えを示しました。

浦佐駅について
窓口要員をリモートマ

ル「話せる券売機」に置き換えることとした。繁忙期は窓口を臨時で開けることもあり、窓口対応が可能なようにマルスは残すこととした。

券売機は社員教育を含めて分かり次第伝えているとしました。

浦佐駅へ導入する理由を問うと、新幹線駅であること、収入や発売枚数等を勘案したとしました。

話せる券売機でできないことはあるか質すと、イベント券の発売はできないとしました。

3月実施の効率化と5月実施の業務委託という二段階での提案の意味を問うと支社側は、効率化と支社側は、効率化した上で春の新生活等の対応を本気で見てから委託するためであるとの考えを示しました。



3月実施の効率化と5月実施の業務委託という二段階での提案の意味を問うと支社側は、効率化と支社側は、効率化した上で春の新生活等の対応を本気で見てから委託するためであるとの考えを示しました。